

新時代の災害対策：グラスに映る防災
(実習の進捗発表)

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2020-05-13 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 田中, 佑馬, 松本, 大輝, 横山, 栄介, 近藤, 由輝, 宇佐美, 友里 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10297/00027433

新時代の災害対策 _グラスに映る防災_

田中佑真(情報科学科), 松本大輝(情報科学科), 横山栄介(情報社会学科), 近藤由輝(情報科学科), 宇佐美友理(情報社会学科)

近年, 東日本大震災をはじめとした災害が猛威を振るっている. それらの災害の犠牲者のうち高齢者の占める割合が大きい(牛山ら. 2011), 高齢化は年々進んでおり, 20年後には更に進行している. 災害大国である日本において, この問題の対策は急務といえる. そこで私たちは, スマートグラスを活用した災害対策を提案する. スマートグラスを選んだ理由は情報をシンプルに表示できる点にある. スマートグラスは身につけた人の視覚に, 情報を直接送ることが可能であるので, 難しい判断を必要としない(Sugawara et al. 2018). そのため, 高齢者でも難なく利用することができると考えた. 利用例として, 避難誘導を挙げる. 最寄りの避難所への避難経路をスマートグラス上に表示することで, 避難にかかる時間を削減することが出来る. このようにスマートグラスを用いて分かり易く情報を送ることにより, 高齢者の被害を抑止できるものと期待される.

(学習マネジメント, 担当教員: 宮崎真)